

令和4年度 第1回 和泉市介護保険運営協議会議事録

開催日時：令和4年7月29日（金曜日） 午後1時30分～

場 所：和泉市コミュニティセンター1階中集会室

司会	定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第1回和泉市介護保険運営協議会を開催させていただきます。 はじめに、福祉部長からご挨拶いたします。
部長	あいさつ
司会	ありがとうございました。 続きまして、本協議会の委員の皆様のご紹介をさせていただきます。 (委員紹介) 次に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。先日本配りさせていただきました資料はお持ちいただいていますでしょうか。会議資料は「会議次第」と「令和4年度第1回介護保険運営協議会資料」です。 それでは、議事進行につきましては、本委員会規則第6条第1項の規定により、会長が議長となり進行をしていただくことになっておりますが、本日は会長が所用により不参加のため、職務代理にて進行をお願いいたします それでは、開会にあたりまして、職務代理より、ご挨拶をお願い致します。
職務代理	挨拶
司会	ありがとうございました。 それでは、このあとの進行は職務代理の方でよろしくをお願いします。
職務代理	はいわかりました。 最初に、本日の委員の出席状況を事務局よりおねがいします。
司会	はい。本日の出席状況の報告をさせていただきます。 会長につきましては欠席する旨連絡をいただいております、総委員数15名に対し現時点での出席委員14名で、過半数出席いただいております、本委員会規則第7条第2項の規定を満たしておりますので会議が成立することをご報告いたします。
職務代理	ありがとうございます。 さて、本委員会では、「公開基準」に基づきまして、一般公開しております。本日につきましても傍聴を認めておりますが、傍聴希望者がおられませんので、このまま進めてまいります。 それでは次第に沿って、順次進めて参ります。 まずは、次第3. 報告の①「令和3年度決算見込及び事業報告について」、②「令和4年度予算及び事業計画について」事務局報告願います。
事務局	「令和3年度決算見込及び事業報告について」、「令和4年度予算及び事業計画について」説明
職務代理	只今、報告・説明のあった内容について、なにかご質問等ございますか。
A委員	一つ目の質問は、令和3年度の決算見込みですが、1億9,400万あまりが黒字ということかと思うが、歳出の欄に基金積立金が1億9,500万ほどあ

	りますが、純利益を積立金にまわすということでしょうか。また、2つ目の質問は積立措置を取った結果、令和3年度末の積立金の合計はいくらになるのでしょうか。
事務局	1つ目の質問の基金積立金につきましては、この収支黒字の部分の1億9769万というのは、基金の方に積み立てをさせていただくようになります。ただ、交付金のところで追加交付とか返還金を計算させていただいて、積立ということになります。そして、2つ目の質問の残高ですけれども、令和3年度末の基金積立金の合計は5億9,269万4,000円の見込みです。
B委員	資料1の決算では、150億円の予算に140億の実績で、給付費や地域支援事業などでは実績が少なく、被保険者としてはありがたい。が、資料2の本年度の予算は160億円計上されている。令和3年度の実績を勘案して予算は組めないのでしょうか。支出が多くなると保険料も高くなるのではと思います、実績ベースで考えて計画に反映されないのかなと思います。
事務局	予算については認定者数の伸びに関しまして、過去3年間のサービス量の増加率などを確認させていただいて、アップさせていただく部分もございます。計画の中で施設整備をやっており、令和4年度に開設予定の施設分も含め介護給付費等を計算させていただいた結果を予算とさせていただいております。以上になります。
B委員	では、実績は関係ないということですか。
事務局	予算は10月に積算することになります、実績につきましては4月から9月の実績を基にして決算見込みを計算しております。半年なので見込み的なものになるので、やはり実績と少し離れるところもありますが、過去3年間の推移を基に計算しまして、伸び率を計算して翌年度の予算を推計しています。
職務代理	他に何かご質問等ありますか。特にないようですので、次に、③「介護保険事業計画の進捗について」事務局説明願います。
事務局	「介護保険事業計画の進捗について」事務局説明
職務代理	只今、報告・説明のあった内容について、なにかご質問等ございますか。
C委員	この目標数値ですけど、高齢者の数がどんどん増えていく中で、例えばですけど、緊急通報装置の部分に対しては目標数値がどんどん下がってしまっていて、令和2年に比べて令和5年の方が低い。もう1カ所、ケアプランチェックの件数にいたしましてもずっと40件となっている。対象人数が増加しているにもかかわらずチェックする目標が同じ数字というような根拠が何かをお答えいただきたい。 あと、老人クラブの会員数の増加のところの説明が聞き取れなかったので、もう一度説明していただきたい。以上です
事務局	先にケアプランチェック40件というところで、数字が変わっていないというご指摘ですが、ケアマネージャーに対してケアプランを何件か提出していただくという形で実施しております。利用者毎ということではなくて、ケアプランを立てるケアマネージャーへの指導・点検をさせて頂いております

	<p>す。令和3年度であれば、サービス付き高齢者住宅に入居されている方のケアプランを立案しているケアマネージャーのケアプランを主に抽出し提出して頂きました。毎年、抽出条件を考えケアプランチェックの対象者を決定し、実施しています。</p> <p>次に、緊急通報装置ですけれども、介護保険計画は3年を1期として計画を作っておりますので、平成30年度～令和2年度で目標を定めておりますが、令和2年度の実績見込みが830人でしたので令和3年度の目標は870件と決定いたしました。令和3年度の実績の方は、利用料の負担増等の要因もあり利用人数が減ってしまったというところになってございます。</p> <p>続きまして、老人クラブ会員数の件ですが、改めてそのご説明をさせていただきます。令和3年度の目標が13,100人で、実績が、12,034人でございます。全国的に組織が高齢化しているというところで、クラブの存続がなかなか難しくなっているというクラブが多くなっております。特に、役員のなり手がなく休会となっているところが多いと聞いております。それに加えまして、コロナ禍の影響で行事の方も中止となり、活発な活動が行えず会員数増加に繋がらない原因となっていると考えております。対策としては、休会や解散となってしまったクラブの復活を手助けする支援や、活発な活動をしていただく支援として、校区助成金制度の活用を推進しております。また、今年度より地域に老人クラブがない方が入れるような市老連直轄の老人クラブを作りたいというところで、新たな制度を作っているところでございます。</p>
C委員	<p>基本的に老人クラブの加入を促進していただかないといけない。そして、無いところには作っていただき、現存するクラブの加入可能地域の拡大をしてほしい。最近では、自治会もどんどん加入者が減っている。老人クラブもしかり、加入しなくてもある程度のサービスが受けられるとなると誰も入らなくなります。違う形での集まれる方法が定着すると、元来ある老人クラブに支障をきたす。老人クラブの代表の方々と意見交換し、今後の加入促進に努めていただきたきたいというのが一点目のお願いです。</p> <p>次に、緊急通報装置の目標数値の件ですけど、当初の目標値に実績が届かないから下方修正するというのはどうかと。当初の目標設定時も根拠があったのかと思うので、目標数字達成ありきの数字に修正したというように聞こえてしまいます。目標値に関して、見込みと違ったのであれば、なぜそうなったのかということを考えて、目標値の根拠を明確にしたうえで設定してほしいということを2つ目の要望とします。</p>
D委員	<p>ちょっと言い訳になりますが、昭和37年に老人クラブは3,000人あまりで発足しました。そして、平成23年頃に15,000人まで増えましたが、その後、全国的な問題ですけど、老人クラブの会員がどんどん減ってきて、平成25年度に全国100万人、それから、大阪府4万人、和泉市で3,200人増やそうと言う活動計画を立てました。それでも、逆に減ってきてまして、今現在11,511人になりました。元々老人クラブは、地域に密着した自治会の付属団体とし</p>

	<p>て展開しておりましたが、老人クラブがない地域や、解散や休会しているところもあり、入りたくても入れない状態を解消するために、市と相談し、市老連直轄の老人クラブを今年の4月から運営しています。残念ながら加入者はまだ12人しかおられませんが増やしていきたいと思います。この市老連直轄の老人クラブを大きくすることが目的ではなく、今後は老人クラブ加入希望者が10人程度いれば、老人クラブとして認めたいと思っています。</p>
E委員	<p>基本目標1の(1)のところで、要介護認定を受けていない後期高齢者の割合目標が70%となっていますが、なぜ後期高齢者に絞る意味があるのかなって思いました。実際、後期高齢者の方も増えておられますけれども、認定を受けている65歳から75歳未満の方が減っているのに認定率が上がっているところから見ると、後期高齢者だけに絞るってところがちょっと良くわからなくて。大阪は日本一認定率が高いって言われている部分で、特に要支援者の率が結構多いと言うところを見ると、後期高齢者というよりも75歳未満の方の認定率を抑えていくための体力づくり等を行う方がこれからは有効かつ重要なのではないかなと思うと、後期高齢者に絞る必要があったのかなと思いました。</p>
事務局	<p>65歳から74歳の認定者数に注意していかなければいけないというところはよくわかりました。今回の目標で後期高齢者に絞っているのは、基本的には後期高齢者になられた以降に介護認定を受けられる方が多いという統計がございますので、その年代の健康寿命をできる限り伸ばしていきたいというところで、その動向をみるための指標として後期高齢者というところで絞らせていただいているところでございます。</p>
F委員	<p>一意見としましてですが、私も介護認定があり、ケアマネージャーについてももらっていますが、担当ケアマネージャーの年齢は65歳です。75歳以上で働いている方もいらっしゃいますけれども、65歳から74歳はまだまだ現役世代ではないんだろうかって感じを受けます。ですが、やはり後期高齢になってきますと家にいらっしゃる方が多いですし、一人暮らしをされている方も多いです。一人暮らしとなると老人会とか地域の活動に入らないと、健康確認もできないような方も多いいと思います。だから、そのような観点からも、後期高齢者とそれ未満の年代の方とはかけ離れた状態であるということ念頭に置いてほしいと思います。</p>
職務代理	<p>他に何かご質問等ありますか。特になければ 次に、④「介護保険施設整備運営事業者申込状況等について」事務局説明願います。</p>
事務局	<p>「介護保険施設整備運営事業者申込状況等について」説明</p>
職務代理	<p>ありがとうございます。今年度は多くの事業者から応募があったようですね。選考に関しては、前回の運営協議会でとり決めたように、令和3年度と同じメンバーで選考していただくこととなりますので、選考委員の皆様よろしくお願いたします。本日が応募書類の締め切り日とのことですが、このあとの動きはどうなりますか？</p>

事務局	事務局で提出書類の内容を点検、確認を行ったあと、選考部会の1週間程度前に選考委員に応募書類をお渡しし、ご確認いただいた上で、8月24日の選考部会にて各事業者からのプレゼンを受けた後に選考をしていただきます。なお、選考部会終了後、運営協議会の委員の皆様には持ち回りで事業者の選考結果についてご報告させていただき承認をいただければと考えております。各委員におかれましては、お忙しいこととは存じますがよろしくお願い致します。
職務代理	わかりました。では、選考後、結果については運営協議会委員の皆様へ報告があるということですね。委員の皆様にはお忙しい中すみませんが、対応よろしくお願い致します。 では、次に報告⑤「令和3年度各種苦情・相談実績報告」について事務局説明願います。
事務局	「令和3年度各種苦情・相談実績報告」事務局説明
職務代理	只今、報告・説明のあった内容について、なにかご質問等ございますか。特になければ、次に次第「4. その他」について委員の皆様から、または事務局から何かありましたらお願いします。
事務局	介護保険事業計画ですが、3年に一回策定をしておりますが、来年度が策定の年になりますので、現在、策定を支援してくれる事業者をプロポーザル方式で募集中です。来年の運営協議会は五回ほど開催させていただく予定ですので、委員の皆様よろしくお願い致します。
職務代理	以上で運営協議会の議事及び報告事項は全て終了しました。委員の皆様ありがとうございました。この後の進行は事務局にお願いします。
司会	これを持ちまして、令和4年度第1回和泉市介護保険運営協議会を終了とさせていただきます。